103
2017年(平成29年)
10/20発行
あなたと議会のかけ橋に

苓北町議会だより きずな

富岡地区秋の例大祭

主な内容
- 定例会 …… 2～6
- 一般質問 …… 7～14
- 町民の声 …… 15

発行　苓北町議会　TEL35-1111
編集　広報委員会

※とじて保存しましょう。

議会日誌

※主なものを載せています

町木「ツバキ」

7月

31日　議会活性化等検討特別委員会
〃　議員全体会

8月

28日　議会運営委員会

町花「はまゆう」

9月

8日～15日
平成29年第15回苓北町議会定例会
決算審査特別委員会（12・13・14日）
11日　議会運営委員会
15日
26・29日
議会広報委員会

10月

3・6・13日
議会広報委員会
4日　議員研修会（美里町）

次の定例会は

12月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
9月定例会の傍聴者は、
127人でした。

議事録は『苓北町役場ホームページ』
http://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/
で閲覧できます。

“定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”

苓北町ホームページ
↓
各課からの案内
↓
議会事務局
↓
議会質疑応答・音声

上記の順で開いて行くと９月議会での一般質問の様子が録音放送にて聞けるようになりました。

編集後記

沖縄周辺に数日間居座り周辺の島々に莫大な被害をもたらした台風18号は９月17日鹿児島に上陸し九州、四国、本州と見事日本列島を縦断し19日北海道に到達した。

鹿児島に上陸した後本町を、何事もなかったように通りすぎて行ったが、各地に、大風、大雨による膨大な被害をもたらした。

ところで、北朝鮮の問題は、朝鮮半島はもとより、近隣の国々、地球規模で危険をはらんでいる。

８月29日に発射された中距離弾道ミサイルが、９月15日にも発射され、日本の上空を横断した。

核やミサイルの開発を加速させる北朝鮮に対し国連安全保障理事会の制裁決議を履行させるよう働きかけているようだが果たして、結果は？

国内では、永田町がにぎわっている。衆議院の解散だ。

台風18号の甚大な被害、北朝鮮問題等が山積している中、総理の衆議院解散。皆さんどう思われますか？

議会広報委員会

議会だより　きずな
●発行／熊本県苓北町議会　〒863-2503　熊本県天草郡苓北町志岐660　TEL0969-35-1111
●印刷／㈱印刷センター　〒863-2114　熊本県天草市五和町城河原2-73　TEL0969-28-6700

所管事務についての現地調査結果報告

調査期日
平成29年8月24日（木）

調査場所
①富岡港の満潮時における潮位の確認
②国道389号都呂々落石箇所の確認
③町道善亀線地すべり状況の確認
④森林基幹道苓北天草線地すべり状況の確認
⑤旧坂瀬川中学校の利活用の確認（坂瀬川公民館・坂瀬川出張所）

出された意見・要望事項等

①富岡港の満潮時における潮位を確認した。台風時等の海岸線の高潮対策について、今後とも注視いただきたい。
②国道389号都呂々落石箇所を確認した。当該落石法面一帯の対策が今後、年次的に行われることと思われるが、世界遺産候補の天草市崎津集落への道路でもある。
当該落石箇所については、早急な対応がなされるよう県に要望されたい。
③④町道善亀線ならびに森林基幹道苓北天草線地すべり状況を確認した。下流域の住家等への二次災害の防止を含め、地域全体としての被害対策を講じられるようお願いする。
⑤旧坂瀬川中学校の利活用の確認をした。各部屋の日常における換気にも努められるとともに、一部内装の補修をお願いしたい。
また、二階部分の利用について、検討をお願いしたい。
さらに、坂瀬川中学校としての資料保管について、ご留意いただきたい。
このことについては、都呂々中学校についても同様と思われる。旧坂瀬川中学校校長住宅解体については、進入路新設箇所を含め、地域住民の意見を踏まえていただきたい。

富岡港の潮位確認

国道389号平成28年6月22日落石状況

森林基幹道苓北天草線地すべり状況

坂瀬川公民館・出張所

町道善亀線の地すべり状況

第15回 定例会 9月8日～15日

承認第10号専決処分	補正前の予算額（千円）	補正額（千円）	補正後の予算額（千円）
平成29年度一般会計補正予算	4,742,565	2,999	4,745,564

※補正予算の主な理由:（専決処分）災害発生による設計委託料の計上によるもの。（原案可決）

平成29年度一般会計		補正前の予算額（千円）	補正額（千円）	補正後の予算額（千円）
議案第44号	一般会計補正予算（第3号）	4,745,564	111,225	4,856,789

反対討論

松本議員	志岐麟泉の跡の公園が考えられたが、宗教的なトルレス神父の碑に多額な予算が使われている。本町においては、河川、道路、地滑り等災害の問題が多くある。そこに力を入れていただき、今回の案内板の作成は足踏みをし、今後の問題として検討していただきたい。よって、一般会計補正予算について反対する。
浜口議員	先ほど提示された図案がアズレージョ（案内板）として残ることとなるのはやめていただきたい。この図案に決まった経緯、誰がどのように決めたのかの説明がない。よって一般会計補正予算について反対する。
高戸議員	今回の補正には、重要な案件も予定されているし、町長からも図案については、検討するとの回答もあったが、どうしても納得いかない。残念ではあるが今回の補正には、反対する。
野﨑議員	志岐公園整備に700万円もの予算が組まれているが、メインであるアズレージョの原図案では納得できない。図案の見直しがなければ賛成することはできない。よって、補正予算に反対する。

賛否表（第15回定例会） ○ 賛成 ・ ● 反対

議案番号	議案	結果	表採決 賛成・反対	松本	廣田	髙戸	松野	倉田	石田	野﨑	浜口	田嶋	山下	錦戸
議案第44号	平成29年度一般会計補正予算	可決	6・5	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○

平成29年度特別会計		補正前の予算額（千円）	補正額（千円）	補正後の予算額（千円）
議案第45号	坂瀬川財産区特別会計補正予算（第1号）	16,710	1,757	18,467
議案第46号	都呂々財産区特別会計補正予算（第1号）	47,364	248	47,612
議案第47号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	1,311,780	4,902	1,316,682
議案第48号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	871,000	16,123	887,123
議案第49号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	107,387	1,427	108,814
議案第50号	水道特別会計補正予算（第1号）	223,623	5,905	229,528
議案第51号	下水道特別会計補正予算（第1号）	364,569	△1,200	363,369
議案第52号	農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	18,489	350	18,839
議案第53号	特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	48,651	△1,641	47,010
議案第54号	宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	7,094	425	7,519

※補正予算の主な理由:前年度繰越額の確定によるもの。また、それに伴い、下水道・特定地域生活排水処理事業特別会計については、一般会計からの繰入額の増減によるもの。

議案第45号～54号は全員賛成・可決

平成28年度決算審査特別委員会　9月12日～14日

一般会計・各特別会計すべてを認定しました。

◎なお、議会から次のような要望を行いました。

一般会計

（歳入）・町税等の滞納処理については、引き続き努力されたい。
・公共施設の全体的な使用料の減免措置については、規定の整備に努められたい。
・ふるさと納税の返礼品の充実を図られたい。

（歳出）・結婚事業等、成婚に繋がるような取り組みを再検討されたい。
・高齢者・観光客等が利用しやすい町有バスの運行計画について検討されたい。
・堆肥センターの管理運営について、保守点検委託及び天草圏域との連携を含めて検討されたい。
・新たな需要に対応した雇用を創出するなど、農林水産業の担い手育成に取り組まれたい。

特別会計

・国民健康保険
・介護保険
・後期高齢者医療
　} ・健康保持増進の取り組みを進められたい。

条例等改正

議案第39号　苓北町個人情報保護条例の一部を改正する条例

（主な改正の内容）
行政手続における個人を識別するための利用等に関する法律の一部を改正する条例の施行による、条例の一部改正。

議案第40号　苓北町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（主な改正の内容）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に基づき、教育委員長の職が廃止されることによる、教育委員長の条項を削除する条例の一部改正。

議案第41号　教育員会教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例（主な改正の内容）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員長の職が廃止されることによる、教育長の給与等の条例の根拠規定を変更する条例の一部改正。

議案第42号　苓北町老人あん摩、はり、きゅう等施術料金助成に関する条例の一部を改正する条例（主な改正の内容）

苓北町国民健康保険あん摩、はり、きゅう等施術利用規則が国保財政の健全化推進のため、平成29年3月31日もって廃止されたことによる、苓北町老人あん摩、はり、きゅう等施術料金助成に関する条例の一部改正。
また、指定書の交付及び指定施術師の辞退について新たに追加。

議案第43号　苓北町町営住宅管理条例の一部を改正する条例（主な改正の内容）

町営住宅管理条例の根拠となっている「公営住宅法施行令」及び「公営住宅法施行規則」の一部改正が行われ、平成29年7月26日施行されたことによる、条例の一部改正。

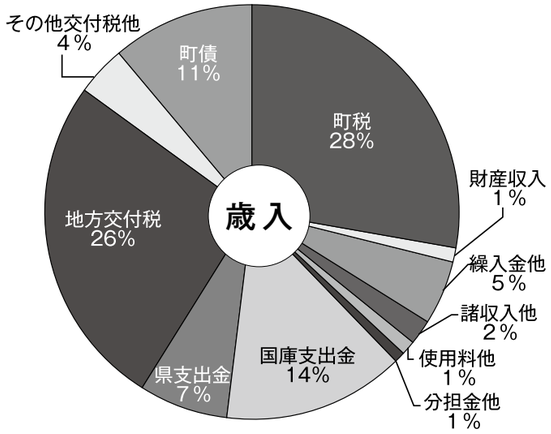
議案第55号　熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更（主な改正の内容）

熊本県市町村総合事務組合の構成団体である「公立玉名中央病院企業団」が、「地方独立行政法人くまもと県北病院機構設立組合」へ移行したことによる名称変更のための規約の一部変更。

一般会計（単位：円）

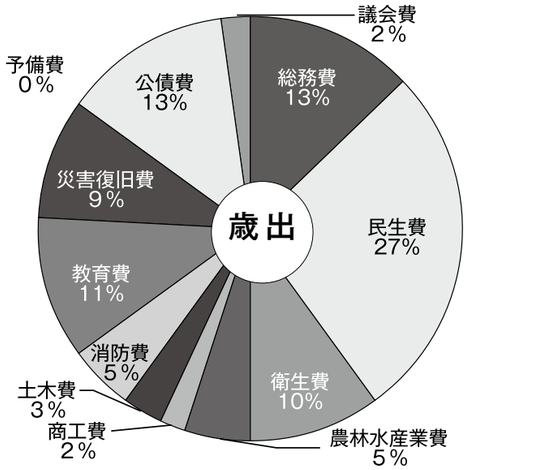
歳入

自主財源 37.2%	町税	1,566,722,117
	財産収入	40,894,101
	繰入金他	272,123,965
	諸収入他	95,174,008
	使用料他	47,160,452
	分担金他	47,947,048
依存財源 62.8%	国庫支出金	781,901,306
	県支出金	428,467,709
	地方交付税	1,445,655,000
	その他交付税他	218,670,000
	町債	619,798,000
合　計		5,564,513,706



歳出

議会費	76,489,899
総務費	710,456,297
民生費	1,450,900,517
衛生費	539,565,802
農林水産業費	285,501,609
商工費	119,061,741
土木費	181,748,487
消防費	266,435,838
教育費	579,522,071
災害復旧費	499,019,525
公債費	672,344,902
予備費	0
合計	5,381,046,688



一般会計収支状況

歳入歳出差引額	183,467,018
翌年度へ繰り越すべき財源	54,840,000
実質収支額	128,627,018

積立基金の状況

基金	決算年度末現在高（円）
一般会計基金合計	1,114,952,685
特別会計基金合計	76,847,917
基金合計	1,191,800,602

町債残高の状況

町債	平成28年度末現在高（円）
一般会計町債	7,912,272,623
特別会計町債	3,431,282,740
合計	11,343,555,363

特別会計（単位：円）

	歳入合計	歳出合計	歳入歳出差引
坂瀬川財産区	18,397,059	140,030	18,257,029
都呂々財産区	46,530,027	781,090	45,748,937
国民健康保険	1,266,838,630	1,260,973,001	5,865,629
介護保険	874,364,465	854,650,680	19,713,785
後期高齢者医療	104,019,667	102,649,473	1,370,194
水道	246,565,285	229,881,513	16,683,772
下水道	343,854,888	342,400,635	1,454,253
農業集落排水	17,654,274	17,258,332	395,942
特定地域生活排水処理事業	48,940,920	47,791,548	1,149,372
宅地造成事業	7,863,760	7,437,080	426,680

議案第56号
・請負契約（富岡城新大手門広場整備工事）の変更締結について

1　工事名　富岡城新大手門広場整備工事
2　契約の方法　指名競争入札
3　当初5千594万4千円
　変更　28万6千52円
　合計5千623万52円
4　契約の相手方
　苓北町志岐234番地1
　株式会社　レイジュウ
　代表取締役
　植里　幸太郎

（説明）東西の石垣工・既存施設の被覆（個人所有）・堀切部分の延長及び面積等の増減による変更のため。

富岡城新大手門広場整備工事

討論

原案に反対
浜口議員

①　津波一時避難所等防災対策には力を入れているのに本件の液状化対策は無視。この様な町の取り組む姿勢は、高さ12ｍの津波第1避難所等への税金投入の施策と整合性がとれていない。

②　通行手段、方法は、ユニット型とか、現状とか未だに明確になっていない。

③　道路の暗渠、側溝として認めながら、石垣に埋没する流末の処理方法は示されていない。

④　図面番号4西側石垣の変更について。今回のE断面、D断面では継ぎ足したという石垣の前面に合わせて変更されている。この事は、史実に忠実という本事業の基本が無視されている。

原案に反対
松本議員

年度当初、警察、産交あるいは消防関係の方々の意見を聞いてと言うことになっていたが、これが、行政の仕事でありながら、我々にも、町民の方々にも説明がないまま、進行形で、こういった事業が進むのは大変疑問である。

これは、個人の財産を作るのと違いまして、苓北町全体で考える事業である。

真剣に取り込まなければならないと思う。

先ほど、町道の変更等の問題もあったが、確実な用途変更であるので、手続きは何もいらないのか。

十分に審議がなされていない、あるいは、無造作に進行形で進んでいる事に対し、私は反対する。

原案に反対
野﨑議員

私はこれまで、大手門整備は、町道富岡線の利用が不便になる。また、町民の十分な理解が得られていない。などとして、これまでも反対してきた。

また、先ほどの説明では近隣住民の同意も得られていない、車両も通すのか通さないのか、最終案も決まっていないとの話であった。このような現状で賛成することはできない。

よって、原案に反対する。

報告第6号
平成28度決算における健全化判断比率等について

（説明）
実質公債費率　12．2％
将来負担比率　128．7％

報告第7号
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告について

（説明）
学校教育、社会教育の施策報告とその評価

同意第4号　（原案同意）
教育長の任命について
苓北町富岡　濵﨑敏和氏

同意第5号　（原案同意）
教育委員の委員の任命について
苓北町坂瀬川　吉田修一氏

賛否表（第15回定例会）　○　賛成　・　●　反対

議案番号	議　案	結果	表採決 賛成:反対	松本	廣田	髙戸	松野	倉田	石田	野﨑	浜口	田嶋	山下	錦戸
議案第56号	請負契約変更締結（富岡城新大手門広場整備工事）	可決	6：5	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○

議案第39号～43号及び、議案55号は全員賛成・可決

一般質問（8議員登壇）

松本良人議員

「核兵器禁止条約」採択に伴う日本政府の対応について

問　広島、長崎に原爆が投下されてから72年、身内を失い、未だに放射能の害に悩まされている被爆者が多い。

苓北町に於いて、8月9日天草郡市原爆死没者追悼式が開式された。その式典の中で、都呂々小学校の田脇真里衣さん、鶴田千夏さんは『昭和20年8月9日長崎に原子爆弾が投下され、それまでの日常生活が一瞬にして奪われたことに怒りを覚え、このことから学んだ戦争や原爆の事をしっかりと学び、伝えていきたい。そして、戦争や原爆により被害を受けながらも、強い心で努力を続けてこられた方々の思い「戦争と核爆弾のない平和な社会」を受け継いでいきたい。』と力強い願いがあった。

苓北中学校の吉田実花さんは、『祖父から戦時中の話を聞き、厳しい環境の中で一生懸命生きていた人々の様子を想像し、天草から見た長崎に投下された原爆の黒い雲の話。又小学校の修学旅行で長崎に行った時、原爆の恐ろしさを知り、絶対に核兵器を使ってはいけない。戦後に生きる私たちは、平和に過ごしていますが、多くの先輩達が不屈の精神で復興に努力してこられたからであり、感謝の気持ちを忘れず、戦争を体験された方々の思い、恒久平和への実現のために、一日一日を大切に生き、平和な世の中を作るために、努力をしていきます。』という、平和への誓いの言葉があった。

国連総会第1委員会で7月7日「核兵器禁止条約」交渉開始を定めた決議が採択されたが、日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、参加しなかった。広島、長崎に原爆が投下されてから72年、身内を失い、未だに放射能の害に悩まされて被爆者の方々が多い。特に苓北町は多くの被害者、関係者が多い。苓北町長としてどうお考えか？

町長　町長としての意見は控えさせていただきたい。

問　今年も、高校生が集めた核廃絶願いの署名21万4千人分の署名を国連の軍縮会議に手渡し、核廃絶を訴えた。

小学生、中学生、高校生の若い世代が核兵器絶滅、世界平和を願っている。

この事をしっかりと受け止め、ここ苓北町から、平和と安全な社会を受け継いでいかなければならないと思うが。

平成30年度予算編成について

問　苓北町においては、苓北町振興計画「ふるさと未来プラン」―安心していきいきと暮らせる私のふるさと・苓北町―　この素晴らしい計画書により、さまざまな施策が進められているものと思われるが、この振興計画に基づき、これまで約2年半の議会活動の中で、私なりに「安全、安心」の町として、そして子供や孫達に将来負担のかからないような政策、施策を執り行うよう、一般質問をはじめ、委員会等、機会ある毎に、町民の方々の声、意見、要望を聞きながら、様々な問題提起をしてきた。

特に、前回の6月議会の一般質問では、苓北中学校体育祭大会のテーマ「積小為大築け・100年の礎」

校長先生の挨拶の中に、10年後20年後の礎を　100年後の礎を築いていきましょうと言う子供達へのメッセージを、真剣に聞き入れている生徒の姿にハッとさせられた事を申し上げた。そして、先の3月議会に於いて「大型の投資に伴う借入金の返済や、維持管理費が多額な施設、経済効果が望めない事業や、施設が多くある一方で、中には、町民に不安をあたえながらも推し進められている事業があり、町財政を圧迫している」と質問した。

町民に直接関係する防災、インフラの整備ほか数々の問題点が取り残され、町民へのサービスは年々悪化しているように感じられる行政は、正に「積小為大」の言葉に逆行している。町の計画は平成20年度に第6次基本構想が策定され、計画が進められていると思われるが（そのなかで）

第一点目、「安全・安心」についての考え方と、現在の進捗状況をお尋ねする？

第二点目、基本計画「ふるさと苓北未来プラン」を主軸とした、平成30年度の、予算編成時期にはいるが、

①長期計画における収入源の的確な把握と新年度の予算で、税収と、公債費は
②安全な生活環境づくり
③道路網、インフラの整備は
④学校教育環境の整備
⑤農林水産業、商業観光振興
⑥自治体経営の現状

等、新年度の予算編成についてお尋ねする。

町長　（中略）自主財源の根幹である固定資産税は、当初予測よりも好転しているが、余裕のある財政状況ではないので、今後も更に財政健全化が進むよう頑張っていきたい。

1、行政区から要望された「行政通信」に対する町の回答について
2、町の恵まれた情報環境を活かした「ケーブルテレビ」の導入について

野﨑 幸洋 議員

問　**行政通信の回答の内「検討が必要なもの」の中には、いつまでに検討して対処するか明確でない回答のものや「実施しなかったもの」の中には、町道維持管理・側溝蓋・補修など町民が危険性を感じ、早急な対応を求めた要望が含まれている。**

2年ほど前の大雨災害で、町道木場線の法面が崩落し、全面通行止めとなった。その際、迂回路として使用された、町道八ッ手線は現在も路肩が崩落し、大型の土嚢で補修したままの状態となっている。区長より、早急な対応を求め行政通信が出されたが、「現在の復旧状態で通行には支障がないとの判断。」との回答であった。全国各地で大雨の被害が発生している現在、災害時の迂回路として使用例のある町道である。**当然、予算が関係するので全ての要望を処理するのは難しいとは思うが、町道関係の要望等は特に再検討され、早急な対応はできないか？**

路肩が崩落したままの町道八ッ手線

町長　可能な限り、処理予定の期日・期限を明記したうえで回答を行う事としており、「次年度以降実施検討のもの」については、①町道改良や舗装など事業費が大きく、振興計画との調整が必要なもの、②県工事等の他の事業との関連から、事業完了後、検討が必要なもの、③事業内容、実施の有無について再検討が必要なものに分類し回答している。

なお、災害時の緊急迂回路として利用した町道で、路肩の仮復旧を実施したことに伴い、災害復旧の申請をしなかったところがあったが、回答書では不十分であった。**今後再度検討したい。**

問　**町は地域情報基盤整備推進事業として総工費約9億6千万を投入し、告知端末機器を設置し、防災無線をはじめとした、行政連絡等の放送がなされている。**

苓北町は全国的にも、恵まれた情報環境だと思われる。この恵まれた情報環境を活かし、ケーブルテレビを各家庭に繋ぎ、議会のライブ放送や行政連絡等、また、町内の観光のPRなど、もう一歩進んだ情報発信をしてはどうかと考える。

現在、天草市・上天草市ではすでに供給開始されている。今後、町が参入できれば2市1町が一体となった観光PRや情報発信が可能となり、大いに苓北町の活性化に繋がるのではないかと思われる。町の見解は？

また、供給開始の条件等は？

天草ケーブルテレビの取材風景

町長　**九州総合通信局へ問い合せをした所、**地域情報通信基盤整備工事により町内施設とともに整備した苓北町ケーブルテレビは、当初の目的として役場に設置しているアンテナで電波を受け、加入者宅に配信している。民間会社への委託を含め、独自放送をすることになれば既存の設備の他、新たに設備追加が必要になると考えられる。国の交付金を受けて整備した設備に追加または廃棄、変更を行うとなれば、**当初の目的とは異なってくるため、国に財産処分の申請を行う必要がある。また、申請内容によっては、交付金の返納も生じる可能性があるが、民間業者から正式な申し入れがあれば検討してみたい。**

水害防止対策としての河川の管理は

石田 みどり 議員

問　近年、日本のいたるところでゲリラ豪雨といわれ、気象予測もできないような集中的な雨で、毎年各地で相当な被害がでており、尊い人命も沢山失われている。今年も7月初めに九州北部豪雨が発生し、福岡県大分県に甚大な被害をもたらした。この異常気象といわれる今日、いつどこで起こるやも知れない豪雨災害である。苓北町でも一昨年6月と、昨年7月の豪雨で予想もしなかった大きな被害が出た。昨年7月の豪雨でも河川の土砂崩れや河川の氾濫による被害も多く出ている。現時点で復旧工事は完了しているのか。27年9月の議会で私は日常的な河川管理が必要ではないかと町長に質問したが町長は、県の河川は県に対策を要請していく。町の河川については極力必要な予算を確保して、竹木の伐採や堆積土砂の撤去等を実施していきたいと答弁された。今も川岸には小木や竹が生い茂り、川の中まで根を張り、川幅を狭くし、川底には土砂や石が堆積し流れが悪くなっているところも多く見受けられる。いつ起こるかも知れない豪雨被害の対策としての河川管理はその後どんな対策を取っておられるのか。

町長　近年、日本各地でゲリラ豪雨といわれる集中豪雨が降っている。最近では福岡県朝倉市で、記録的な集中豪雨で多くの土砂や立木等が流出して、河川沿いの家屋も巻き込み、多くの人命が奪われるという大災害が発生した。本町においても8月15日未明に富岡地区を中心として、時間降雨量100ミリを超える豪雨が降り、大きな川でもない中山川、春川下流域で氾濫し水田が浸水をした。原因として河口部に流れを阻害する堆積土砂等があったので、これを撤去するための予算を補正予算に計上させていただいた。河川全般の状況については、県河川では氾濫に至るような事態は本年発生していない。本年5月に天草広域本部が実施した県河川状況調査に、担当課長が同行をして河川敷の堆積土砂の撤去を要請している。また、河川の流れを阻害する竹木の伐採の要請もしており松原川の護岸の低いところへの対応についても要請を行っている。この対応は29年度中に測量設計を行い可能なところから工事に入るとの説明を受けている。町河川の状況は小路川においては、氾濫の要因となる流木を撤去するためのスリットと呼ばれる施設の整備工事に着手していて、年度内の完成を見込んでいる。今後の堆積土砂の撤去予定は、年柄川の中流域と小路川、中山川、春川の河口で実施する予定。河川の流れを阻害している竹木等の伐採については、10月から2名の作業員を雇用して小路川、年柄川等で実施する予定である。

町の職員について
正規職員と非正規職員の比率。非正規職員の処遇について

問　今年度の正職員と非正規職員の比率はどうなっているのか。昨年は正規98名で63％非正規一般職の非常勤は57名で37％と聞いた。また、非正規職員の処遇はどのようにしておられるのか。人事院が国家公務員の月給、ボーナスについて引き上げ勧告をして、非正規についても同一労働、同一賃金の検討をすすめている。人事院勧告は自治体労働者にも大きな影響を与えると言われているが、これに準ずる答えはないのか。組合からの要望は出ているのか。町民が相談等をしても、すぐには対応してもらえないと苦情もきいているが、職員が忙しくてそうなっているのではないか。今の職員数で町民の要求に対応できるとお考えか。

町長　職員数については29年4月1日現在、正規職員99名64％、非正規職員が55名36％となっている。非正規職員の処遇については町の一般職の非常勤任用等取り扱い要綱に基づいて雇用している。非正規職員の処遇について組合からも要望が出ている。賃金については県の最低賃金の改定を考慮し年次的に改定を行っている。今の職員数で町民の要求に対応できるのか。との質問だが、定員管理計画において、現状の人員を維持しながら行政運営を行っていく。なお年度ごとで退職者数の変動があるが、新規採用にあたっては5ヶ年間の推移を平準化しての採用計画をしている。人事院勧告については昨年、熊本地震等を考慮し改定しなかった分も含めて改定を行ってまいりたいと考えている。

浜口雅英 議員

一、いきいきと暮らせるまちづくり

（一）人口減への対策

問1 学校給食費の無料化による苓北町への移住者の確保

町長 県内では、山江村と水上村が小・中学校とも無料化。荒尾市も本年度10月から小学校で無料化。移住人口増加の方策は、職場の提供が一番。今後も企業誘致を優先して推進してまいりたい。

問2 学園都市構想の具現化

町長 旧KDDの海底線を使って東大が地震観測をされている施設を国の防災研究所として活用していただける様、東大にお願いをして来た。国から後押しがない限り現在の状況を継続して行くという考え方。九大にも本町の地震観測施設を国の施設として活用・充実させていただく様お願いしている。

地元の水産系高校との連携は地方創生加速化交付金事業で町水産資源の発掘・創生事業を行った。この事業では水産業の現状調査、養殖可能性調査、福岡都市圏への販売、人材育成塾等を行った。

人材育成塾の事業では町独自の商品開発につながった。

養殖事業の可能性調査では、近海で養殖可能な魚種について検討。比較的初期投資にお金がかからない藻類養殖の研究に取り組むため、現在、関係機関と検討を行っている。

JFAアカデミーの誘致は、九州では1つとの事。

問3 企業の誘致

町長 通信環境を活用した企業誘致に関しては、元KDD跡地と、都呂々中学校跡を熊本県の企業立地課に登録し、誘致活動を行っている。先日、東京の会社がサテライトオフィスとしての活用を検討するために現地視察があった。

一、やさしいまちづくり

（一）通学路の安全確保

町長 横断歩道や、道路の中央線、外側線の消えかかっている所は国道、県道は県に。町道は独自に検討。

山間部で、歩道に草木や土砂、落ち葉の堆積があり、子供たちの通行に支障があるとの指摘。県道本渡苓北線の城下から平山にかけての区間は、県に要望を行い対応。この他の箇所も関係課と連携のうえ確認し対応したい。

（二）道路の維持と管理

町長 山間地を中心に道路沿線の草刈りや側溝内の落ち葉や土砂の撤去作業を実施。道路パトロールは職員による巡回調査を実施。風倒木や崩土の発生等道路維持に関する連絡があった場合や、区長さんからの行政通信にも速やかに対応している。

作業量が多い案件は土木業者に依頼し、小規模なものは職員等で維持管理に努めている。小型のタイヤショベル等の導入により維持管理の効率化も、引き続き検討してまいりたい。

林道の維持管理は役場担当職員による定期パトロール等で現状を把握。

（三）防災対策

問1 防災マップの検証と見直し

町長 防災マップを商工会発行の住宅地図程度に編集し、記載内容も分かりやすくすべきとの意見。県内にも住宅地図等を利用した防災マップを作成された市町村もある様なので、ため池の洪水マップ等も利用し町民の皆様に分かりやすく、見やすい防災マップの作成を検討。

問2 河川の治水対策

町長 堆積土砂の撤去や支障竹木の除去等の対策を考えている。松原川の河川護岸は嵩上げを平成29年度中に測量設計を実施し工事可能な箇所から着手すると県の説明があった。上津深江川河口の突堤の修繕は既に工事発注し、年内の完成を見込んでいる。

問3 危険個所の解消

町長 危険と判断した所は、随時対応している。が、予算の関係等で放置された所があるやもしれない。

問4 避難予定個所の環境整備

町長 予防的避難所には仕切りのある部屋があるので、男女別や特別な理由がある方々を分けてプライバシーにかかる部分は解消できると考えている。必要な物品等は今後も引き続き購入していく。

防災会議に女性委員を複数委嘱してはとの質問だが、現在、女性の会から一人。今後は各関係機関からの選出に際しても女性委員の積極的な選出もお願いしていきたい。

緊急避難場所は、災害から身を守るための一時的な避難。緊急避難場所への日よけ等の設置の考えはない。

（四）行政と企業の有り様

町長 どちらに責任があるのか等色々と調査を行ったうえで、町としての判断をし、解決に向けて対応して行きたい。

髙戸幸雄 議員

平成28年度決算に伴う課題について

問 平成28年度決算が確定し主要施策成果説明書・決算審査意見書が提出された。

一般・特別会計それぞれ予算に基づき適切な執行が成されたと思うが、次のことについて回答を求める。

●一般会計

再三再四にわたり財政の健全化について質問を行ってきた。28年度も実質単年度収支は、赤字である。多額の積立金を取り崩した内容ならば赤字は明白である。事業を執行する上でやむを得ないとすると、考えを根底から見直すことも必要ではないか。それでも交流人口対策事業を続ける必要があるのか見解を。

●国民健康保険特別会計

平成28年度は、国保会計については、今までかってない危機的運営状況の中、基金の取り崩し、一般会計からの法定外繰り入れ、過去前例がない「県国民健康保険広域化等支援基金」の借り入れによる予算となったがその結果の見解を。

平成29年度税率改正による現在の運営状況及び町民の方からの反応は。

再三にわたり、一般会計から「政策経費」の投入を図るべきと述べてきた再度見解を求める。

町長 実質単年度収支は、赤字である。必要な事業を行った成果だととらえている。交流人口対策は、地方創生総合戦略において、雇用の拡大を図り人口の流入促進と流出抑制の起爆剤と考えている。

現在の事業は、町の活性化のため必要と考えているので今後も推進していくが、現在の自然災害、経済状況の動向等に併せ柔軟に対応していきたい。

国保特会については、28年度は、医療費の増大のため大変厳しいと予測されたが、実質基金残高が2千万円ほどとなった。29年度税率改定による現在の運営については、当初予算で足りる見込みである。今後については、健全な運営が行われるよう2～3年に一度の見直しを行うと共に、低所得者等の救済措置も考えていきたい。

税率改正に伴う反応としては、とりわけご批判等の意見は、何っていない。

「政策経費」としての財政投入については、公平性と言う考えから慎重に検討を行うとともに、必要があれば当然対応をしたい。

再問 先の、定例会質問で、「税率を3ヶ年で引き上げを行いたい」と答弁があった。来年4月から国保の運営主体が、都道府県に移管されるが全国の35％が保険料が「上がる」と予想とあったが、苓北町の回答は。

財源対策として借り入れた「県国保支援基金」の償還が30年度から始まるが、一般会計から支払う回答を得ているので予算計上を。

健康増進室長 30年度、県へ、運営主体が移ることに伴い、当然税率は上がるだろうという予測の回答をした。来年度2年連続上げる事については、今後の運営・被保険者の所得状況等を勘案し慎重に判断し、最終的には、運営協議会に諮り議会の承認を頂きたいと思っている。

自治体に働く非正規職員の処遇改善と人事院勧告に対する姿勢について

問 3月地公法・自治法改正案が閣議決定され、非正規職員の採用根拠・期末手当の支給が明記された。厳しい財政事情のもと非正規公務員が増えている。施行期日に向け働く人たちの処遇改善の取り組みを強く求める。県当局からこの案件に対する指導の有無は。

8月、人事院が29年勧告を行った。昨年度勧告に伴う質問を行った時、熊本地震等を踏まえ組合との交渉の結果給与表の改定はしないとの回答であった。今年度の人勧に取り組む姿勢についての見解を。

町長 法律の一部改正により、32年度から、会計年度任用一般職の非常勤職員について、期末手当の支給が可能となった。この案件について、熊本県当局からは、今回の改正に則り、所要の措置を講じるようお願いがきている。今後、期末手当を支給となると地方財政にも影響することとなるので、導入する場合の職種等の勤務基準、手当率の算出方法等を示していただくよう意見を出している。

人事院勧告についても国・県に準拠した改定を考えている。

小学校部活動スポーツ部門の社会体育移行に伴う苓北町の今後の方向性について

田嶋豊昭 議員

問　今年の広報苓北4月号、平成31年4月で「小学校部活動」を社会体育へ移行する。という見出しでこれまでの経緯と3段階の基本方針が検討委員会から示された。

この委員会は代表16人で構成され、学校の現状把握や保護者の意見聴取・社会体育移行を進めている自治体の視察などを行い、町における3つの基本方針をまとめられている。

(1)小学校運動部活動は社会体育へ移行する。
(2)地域の宝である子供は地域で見守る。
(3)児童の発達段階に応じたスポーツ活動を行う。

立派な基本方針が出されているが、本当に出来るのか？児童保護者の方々は、私の聞いたかぎり皆様心配で心配でたまらないとの事である。部活動のおかげで、子供たちは自分なりに頑張り、親もびっくりするくらい成長し、友達との融和・思いやり・笑顔・勝っても負けても誰とでも話せるようになる・親も教えない事まで学んでいる。と聞いている。

〝地域の宝である子供は地域で見守る〟という基本方針は書いてある通り、サッカー・バスケットボール等専門的な指導者を学校ごとに確保することは現実的に難しいと思う。保護者は、学校が終って帰宅するまでの課外学習・学童等の見守り事業をやっていただけると安心できる。例えば明神山地区のKDD跡地のテニスコートなど少し手入れをしたら遊べるいい広場が各地にある。地区公民館そのものを開放したり、普段は話さないような公民館に来る大人たちとの交流もいいのではないかなと思う。

〝児童の発達段階に応じたスポーツ活動を行う〟児童の発達段階に応じた運動能力が著しく発達する大切な時期であり指導者の資質向上を目指して頑張ってほしい。新聞等で投稿されている若者コーナーでも部活動の投稿が多い。楽しかった事・苦しかった事・考えながら試合に勝てた事、部活動は本当に大事な活動である。町の施策の中でも子供たちへの配慮が多々あるが、まだまだ満足できない点もある。子供たちがイキイキと暮らせる町づくりをしていただきたいと思う。

教育長　小学校の運動部活動の社会体育への移行について県教育委員会が平成27年3月に「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」を策定し、31年4月から県内の小学校運動部活動の社会体育への移行が決定した。「児童数の減少により単一校では部が存続できない」「指導者が不足している」「教員の異動によって担当指導者がいなくなる」「児童にとってスポーツの選択肢が少ない」小学校の現状があり、また全国的にも熊本県・青森県以外の県では小学校運動部活動を行っていない状況で影響していると考えられる。県の決定を受け、平成28年度に町小学校運動等部活動社会体育移行検討委員会の設置、県の補助を受けてコーディネーターを配置し各小学校への移行に向けたヒアリング、保護者へのアンケート、町内社会教育クラブへの意見聴取、こうした結果をもとに検討委員会を開催し協議を重ねてきた。協議の結果「苓北町立小学校運動部活動の社会体育移行の基本方針」をまとめた。

基本方針①　小学校の運動部活動を全面廃止することを決定。

基本方針②　町内社会教育クラブを運動部活動の受け皿の基本と決定した。放課後の居場所作りとして「放課後見守り事業」を検討していく。

基本方針③　「児童の発達段階に応じたスポーツ活動を行う」運動能力が著しく発達する大切な時期なので、指導者の資質向上を目指し研修会等を実施する。検討委員会の継続開催等、平成31年4月の移行を目指し検討していく。

特定検診及び各種検診の無料化は出来ないか。

錦戸俊春 議員

問　自分の健康は自分で守るのが原則であると思うが、生き生きと暮らせる町・健康で豊かな町づくりを目指すことを目的に、特定検診及び各種検診（がん検診等）の無料化は出来ないか。早期発見・早期治療で、医療費削減に大きく、貢献できるとものと思う。

今年度から、国保財政は財源不足が生じ、国民健康保険税が上がったが、その原因が医療費の高騰にある。

ある自治体では、苓北町の検診項目以外に、肝炎ウイルス・腹部超音波・子宮頸がん・骨粗しょう症の各検診などがある。我が町にも、検診項目の追加と、頸動脈超音波検診の追加もと思う。この検診は、動脈硬化の有無が検査も出来るし、甲状腺腫瘍の発見にも繋がる。是非追加項目のお願いをしたい。

町長　自分の健康は自分で守ることを前提に、これまで各種検診の充実や、その受診率向上に努力を続けているが、受診しない年代の方も多く、悪くなってからの受診により、医療費の高騰を招いていることもあると思っている。県下で、特定健診の無料化は宇土市、津奈木町である。無料化導入前・後の受診率は、導入時は、話題性もあり少し伸びたと言うことだが、二年目から元に戻ったとのこと。当町の受診率は、49．8％と県下45市町村中18位。宇土市は、導入時40．2％、津奈木町は、36．9％と、無料化を実施していない当町より低い受診率であり、無料化しても受診率は上がらない状況。

他の自治体では、当町のようにワンコインの５００円から２，４００円の負担金で健診を実施している。

自治体では、当町の５００円が一番安い負担金である。

他には、節目年齢から、無料化をしている自治体もある。がん検診は、無料化をしている自治体はない。無料化を実施したとしても、どれだけ受診率が上がるかわからない。宇土市・津奈木町のように受診率が上がらなければ早期発見早期治療に繋がることがない。

平成30年度からは、国保の制度が大きく変わる。制度が定着し、財政的にも落ち着いたときに、無料化については、近隣の状況も勘案しながら検討していきたい。それまでは、無料化せずとも受診率が向上し、早期の受診に繋がるよう努力をしたい。

ピロリ菌の感染検査を特定健診時に無料で出来ないか

問　ピロリ菌は、胃の粘膜に生息する細菌で、放っておけば胃の粘膜に炎症など引き起こし、慢性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃がんなどの病気を引き起こす原因とされている。また、ピロリ菌に感染するのは、免疫力の弱い、５歳以下の乳幼児期が多いとされ、親から子供への家庭内感染が原因と疑われており、除菌することで発病を予防が可能とされている。

中学生以上も検査対象者としてはと思う。

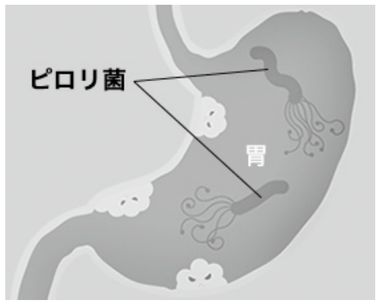
２０１５年から、胃カメラで慢性胃炎を確認した後の除菌治療は保険適用とされている。

以上２件の検診費用財源は、健康保険給付負担割合として、概ね、公的機関が５割、被保険者（保険料）で５割といった構成になっている。この割合から見ても、各種検診料を公費で負担したとしても、保険料の構成比から見ると健康保険給付費の削減に繋がると思うので、費用対効果は大いにあると思う。

町長　ピロリ菌の検査については、天草市が中学３年生を対象に尿検査による検査を実施しているようである。

当町においても、要望の署名も頂いているので、中学３年生を対象とした検査を来年度から取り入れるよう検討したいと思う。

健診費用の無料化や、ピロリ菌検査の無料化など近隣自治体の状況を見ながら、徐々に、できるものからやっていきたいと思っている。



倉田　明 議員

天草長崎航路国庫支援

問　この航路は近年利用客等の減少で航路存続が危ぶまれていたが、関係自治体の協力と地域住民の生活航路、また、観光ルートとして根強い要望がありフェリーから高速船へと沿革の中、町指定管理者の長崎市の会社が撤退され、26年4月から地元会社により新高速船が就航し現在に至っている。

この高速船運航に関する必要な経費は、長崎天草航路事業補助金交付要綱に基づき、町は平成27年度決算で2千197万2千円の補助となっている。この航路について先般、町は国に対し支援要望を出された。これに対し国土交通省はこの航路についてフェリーの復活や運航補助金等を検討されていると聞く。現状は。

町長　平成29年5月11日、天草～長崎航路対策協議会長名で天草～長崎航路の国庫補助航路への新規認定にかかる事前協議書を九州運輸局へ提出し、6月14日付けで九州運輸局より国庫補助航路への新規認定の承認をいただいた。

これを受け、6月末に運航費の欠損額の一部を補助する「離島航路運営費等補助金」の申請に必要な平成30年度離島航路確保維持計画を提出。

9月末には国土交通省より計画の認定及び補助額の内示がある予定。また、暫くの間は高速船運航を考えている。

富岡港船客待合所改修

問　28年12月議会で30年度に改修計画があるが、と質した。

答弁では長崎と天草地方のキリシタン関連資産にあわせ早急に整備する必要があり、国補正の経済対策があれば前倒しで進めたい意向だったが、改修年度に変更はあるのか。

また、施設の全体構想はどのようなものか。

町長　本年度に設計委託費3百万円、平成30年度に工事費4千7百万円で施工を計画し、現在、設計業務と並行し関係機関や富岡地区区長代表の方々と富岡港船客待合所有効活用検討会議を開催し、施設の整備内容を検討している。

概要は船客待合所機能の他、観光案内所、土産品・農林水産物・特産品の販売やふれあい広場等の機能整備を行う方向で検討している。

千人塚公園整備計画

問　平成20年6月議会で国道から公園への進入路が狭く、また、大型バス駐車場、トイレ設置等を質した。その後、用地を地権者へ相談されたが目処が立たないとのことであったが、27年6月に地権者より寄付の申し出があり、27年12月議会の質問では28年度予算で対応したいことだった。28年12月議会では、29年度で整備計画の答弁だったが、計画の現状は。

また、長崎教会群や崎津集落などが世界遺産登録を目指し、地域活性化に期待を寄せられているが、千人塚公園案内板に外国語表示を思うが。

町長　今議会に整備事業費1千2百万円の補正予算を計上。当該地区は周辺で最も低い土地であり、大雨のとき排水調整機能を果たしていたとのことで、今年度、県の方で拓心高校からの排水路改修で排水は改善したと考えるが、もしもの大雨に備え一部、遊水池機能を残し駐車場整備を考えている。次に、外国語表示は必要と考えているが、既設の説明板は国有地内に町が設置しており立て替えの場合、協議する必要があると思われ、誘導板も含め今後検討したい。

アダム荒川公園活用

問　開園2年を迎えたが、27年3月議会でオープンセレモニー、信者のミサ等の利活用について質した。答弁ではホームページや報道機関、旅行会社、ミッション系スクールへ働きかけを行うとのことだったが、利活用の現状は。

また、公園入口の歩行者用石階段は崩れの恐れのためか通行禁止ロープがあったが現在ない。解除されたのか。

町長　現在、町ホームページやウェブサイト「おらしょ　こころ旅」において、長崎県と天草が連携し、長崎と天草地方に残るキリスト教の伝播と普及、禁教下の伝承、解教後の信仰復帰といった歴史に関する関係資料のほか、それらを展示する施設などを登録し、世界文化遺産候補と一体的に情報発信を行っている。

昨年4月に神父2名が来庁された際、アダム荒川公園の活用等の情報交換を致した。

また、アダム荒川が天草で唯一、ローマ法王から『福者』認定を受けていることをご存じでない方が多い。

今後、周知用パンフレット、富岡ビジタセンター歴史資料館など、城内施設と併せ来訪者増を図りたい。

石階段は危険と判断し土地所有者に相談し通行禁止看板を設置。進入路は別に有る。

苓北町議会を見学して 町民の声

苓北中学校１年生が、クラスごとに、苓北町議会９月定例会一般質問を傍聴しました。
実際の町議会を傍聴することで、その仕組みを理解し、政治への関心や次代を担う町民としての自覚を深めることにつながり、貴重な体験学習となったことと思います。

苓北中学校　一年一組　福山　琴音

私は、議会の見学をとおして政治の仕組みについて、少しですが理解することができたと思います。議会では、議長を中心に、一問一答方式で進んでいきました。選挙で選ばれた町長さんをはじめ、議員の方々は、私たち町民のため、また苓北町がよりよいものになるよう真剣に話し合われていることがわかりました。一人一人、考えの違いがありながらも、お互いに理解し合い、この苓北町をよりよくしようとする姿勢に大変感動しました。また、私たちと同じように傍聴席で話を聞かれている人たちは、一言も発することなく、静かで緊迫した雰囲気でした。今回、私たちは日常にない体験をさせていただきましたが、これまで以上に町の政治に関心をもつことができるようになりました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

苓北中学校　一年二組　増田　怜愛

今回、私が議会傍聴に参加させていただいて感じたことは、議員の方々が苓北の設備や環境がよりよいものになるように、一生懸命尽くしていらっしゃるということです。

議会答弁の中で、私が特に関心を持ったことは、「アダム荒川公園の利活用」についてです。町長さんの言葉にあったようにアダム荒川は苓北の地に志岐教会などの様々な文化を伝えた功労者です。今回議員さんがこのことについて質問されたのは、アダム荒川の行いを後世に伝えることの大切さを訴え、今後の活性化につなげていきたいという思いを持っておられたからだと思います。今後のことはまだ想像できませんが、議員の皆さんが真剣に進めておられることを決して他人事にせず、私たちはもっと町の政治に関心を持つべきだと思いました。今回は、議会を見学させていただき、ありがとうございました。